

令和2年度 第3回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会 会議録	
日時	令和3年3月24日(水) 14:30～
開催場所	横浜市役所会議室 ほか【WEB会議形式】
出席者	(委員) 小宮輝之委員長、浅井紀代子委員、佐渡友陽一委員、間曾さちこ委員 (指定管理者) 横浜市緑の協会
欠席者	(委員) 齋藤毅憲委員
開催形態	非公開
議 題	1 令和2年度第2回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録の確認 2 令和2年度下半期モニタリング報告 3 事業評価方法の見直しについて 4 令和3年度会議日程案 5 令和3年度管理運営実施計画について
<p>議題1 令和2年度第2回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異議なし <p>議題2 令和2年度下半期モニタリング報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーターの寝室から通路への脱出案件は、キーパー通路に出たということか。 →はい。清掃しながら、右から左に動かすことを繰り返していた際に、扉がひとつ開いているのに移してしまい顔を出してしまった。 ・1人で対応していたのか。 →2人で対応していたが獣舎がかなり大きいため、もう1人はかなり離れたところにいた。1人が冷静にチーターを入れると同時に、もう1人の職員に安全のため別室に移るようにと指示を出した。 ・何かあった時のために複数で対応するほうが良いが、複数で行う場合はお互いの作業内容を分かるように連絡を取り合わないと、今回のようなことがあるので注意が必要だ。 ・飼育に関してマニュアルが全てではないが、このようなことはマニュアルに添って基本を忘れないよう注意してほしい。 ・コロナによるイベント等の中止に関するフォロー対応について、きちんとできている部分もあるが、アニマルペアレンツについてできてなかったのは大変残念なことである。 ・施設の点検については、建物などの専門家が実施しているのか。 →獣舎については数年前に専門家による点検を行い、その際に重点的に確認を行う点を教えてもらった。それに基づきそれぞれの施設担当者が点検をしている。大きく施設の状況が変わるときは、専門家によるチェックのうえ施設改修を実施している。なお専門家による点検の頻度は決まっていないため、全体的に前回点検した以上に老朽化が進んでいた場合は、一斉点検を行うと必要があると認識している。 またお客様が利用する建物は、指定管理者による点検や建築基準法に基づく点検を定期的に行い、その結果をふまえて改修を進めている。 	

議題3 事業評価方法の見直しについて

- ・動物園の4つの目的について、今の時代にあわせた考え方で整理するのはとてもよい。
 - ・安全管理の項目を入れたらよい。
 - ・人材育成の項目は、動物園で働く職員はもちろんのことボランティアの育成なども含まれるのではないか。
 - ・市としてはどのように考えているか。
- 指定管理期間の後半にむけて、このような見直しの提案をいただいたことは大変ありがたい。
- 指摘いただいた内容も含めて市も項目や課題の洗い出しを行う。
- 令和4年度に実施する事業評価から反映するよう、次年度も継続して議論をしたい。

議題4 令和3年度会議日程案

- ・6月9日（水）ズーラシアにて実施する。コロナウィルスの状況により場所や内容の変更が生じる場合がある。

議題5 令和3年度管理運営実施計画について

- ・マーケティングや中堅職員研修は、良い視点でありぜひ実施してほしい。
 - ・動物福祉憲章についても反映されていくということであり、報告も期待している。
 - ・このような情勢下のため、入園者数の目標数字が1人歩きするというものがないよう留意してほしい。
 - ・域外保全関係については新規案件も含め戦略的なアピールやPRに使うなど、裏方で実施するだけでなく横浜の動物園のブランディングに繋がるような形で展開してほしい。
 - ・今後5年間の取組方向についてどのような行動変容を促すことができたかという報告を聞きたい。ハードルの高い話であるが、ぜひチャレンジしてほしい。
 - ・事務職員の経営的視点醸成と説明があった。事務職に限らず中堅職員全体が経営的視点を持つことが必要と考えるが、今回事務職員に限定したのはなぜか。
- （指定管理者）モニタリングなど横浜市とやりとりをしている中で、動物職や獣医職については様々な研修があるが、事務職員についても取り組む必要があると指摘があった。それを踏まえマーケティング研修を取り入れた経緯がある。対象は、事務職が主だが動物園に関わる職員も受けていくような方法になると考えている。
- ・経営的な視点は非常に大事で、サービスにもつながると思う。
 - ・SDGSを取り入れたプログラムの追加または更新というように、SDGSの目標達成を意識した記載が多くみられるがもう少し具体的なコメントがあると分かりやすい。

→（指定管理者）令和3年度にSDGSの取組達成に向けた指針を取りまとめている状況のため、その取りまとめ状況を見ながら具体的なことについて踏み込んでいきたいと考えている。

・環境教育や域外保全に関わることとして外来種問題がある。金沢動物園ではタイワンリスがいて、野毛山動物園でもかなりいると思う。県内でも鎌倉などでもかなり生息しているが、可愛いけれど問題なんだよということを取り上げるとよいと思う。

→金沢の既存のプログラムの中には外来種をテーマにした紙芝居があり、実際イベント等でも話をしている。また金沢動物園から動物園課に捕獲許可申請を行い、実際駆除も行っている。今までも外来種を取り上げているが、確かに目立たないと思う。

→（指定管理者）野毛山も昔からたくさんいて、数年前から駆除を実施している。同様にお客様に周知する環境教育も含めて実施しているが、このような場で公表するなど表に出ることがなかったため、これからは検討していきたい。

・動物福祉の側面もあるが、様々なテーマの中で具体的な行動となると思うので考えてほしい。

配布資料

資料1	令和2年度第2回指定管理者選定評価委員会会議録案
資料2	令和2年度下半期モニタリング結果
資料3	事業評価方法見直し案
資料4	令和3年度会議日程案
資料5	令和3年度管理運営実施計画書